

令和4年(2022年)10月11日(火) 13979号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://homenikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配送料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円



鉛建値は2万4000円引き上げの36万円

10月の月内建値平均は35万5,200円

三菱マテリアルは7日、電気鉛建値を2万4,000円引き上げの36万円にすると発表、同日より実施した。10月の月内建値平均は35万5,200円。

7日に入電した直近のLME鉛相場前場売値は2,049.00ドル。7日の東京市場の米ドルTTSレートは145.92円。

この値で換算した採算価格は、29万8,900円。建値と採算価格から見た諸掛りは6万1,100円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

2022年

5月…	357(2) 339(11) 327(19)	平均337.1
6月…	342(1) 357(8) 336(16)	平均343.1
7月…	324(1) 333(8) 330(14) 336(25)	平均330.6
8月…	336(1) 345(8) 339(24)	平均340.7
9月…	336(1) 339(8) 342(14) 318(26)	平均333.9
10月…	336(3) 360(7)	平均355.2

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>


地金生産計画下期

銅は前年比17%減

三菱マテリアル

三菱マテリアル株式会社(小野直樹社長)はこのほど、2022年度下期(10月~3月)の地金生産計画を発表した。前年同期の実績に比べ、銅は、直島製錬所で下期に炉修を予定している影響で約17%減。

小名浜製錬所は約7%増、全体では約9%減となる計画。鉛、金、銀の生産は概ね前年同期並みとなる見込み。生産量は次の通り。

銅26,772t/月(前年同期実績29,437t/月)▽鉛2,359t/月(同2,376t/月)▽金3,017kg/月(同3,110kg/月)▽銀29,500kg/月(29,766kg/月)。

今年度上期の計画は、銅30,142t/月▽鉛2,364t/月▽金3,133kg/月▽銀30,000kg/月だった。

社会の発展とその未来に
テクノロジーで対応する

KYOWA

地球にも、人にもやさしいKYOWAのエコ電線

タイシガイセンEM 600V EEF/F

<http://www.kyowadensen.co.jp/>



協和電線工業株式会社

KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO.,LTD.

〒581-0026 八尾市曙町1丁目7番地

TEL (0729) 91-0818(代) FAX (0729) 91-4470

2022/10 - 2023/3
(今期計画)

銅	26,772 t/月
鉛	2,359 t/月
金	3,017 kg/月
銀	29,500 kg/月


2022/4 - 2022/9
(前期計画)2021/10 - 2022/3
(前年同期実績)

銅	30,142 t/月	29,437 t/月
鉛	2,364 t/月	2,376 t/月
金	3,133 kg/月	3,110 kg/月
銀	30,000 kg/月	29,766 kg/月

下期地金生産計画

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



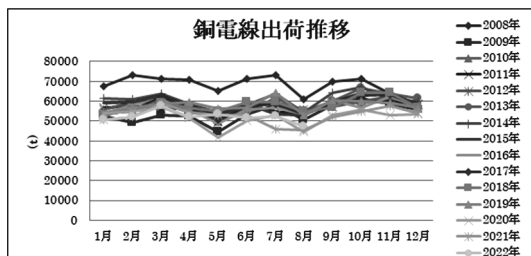
9月の銅の概況及び10月の見通し (3)

予想レンジ		
LMEセツル	7,000-8,000ドル	☂
建値	102万円-120万円	☂
為替	140円~145円	円安
(1か月間TTM)		

【日本電線工業会発の出荷速報(推定)】

前年比+3.3%の4万7,200 t。

内訳は、国内が+3.3%、輸出が+0.8%。



出典 日本電線工業会

■国内概況まとめ

【自動車生産】

生産動態統計によると8月の自動車生産台数は前年比+22.3%の55万1,799台。

輸出は、前年同月比+15.3%の27万182台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると8月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+17.8%の24万2,042台。

内訳は、乗用車が+24.7%、貨物が-14.9%、バスは-3.2%。

【伸銅品生産】

8月の伸銅品生産動向速報値を公表した。8月伸銅品生産量は5万3,710トン、前年同月比2.2%減少し、8か月連続のマイナスとなった。僅かな差で前年実績に届かないが、マイナス幅が小さく、ほぼ昨年並みの生産量で推移している。半導体向けの需要が堅調に推移している。自動車向けに積み上げてきた部品の在庫が掃けてきたとの情報が入ってきており、今後、自動車の挽回生産が進行するものと期待される。

6月に上海のロックダウンの影響が解消したが8月の時点でも、まだ中国からの部品納入滞りに伴う影響が残っている。

銅条は、同比3ヶ月続けてプラス。8月で比較しても、過去6位の生産量となった。引き続き車載ディス

クリートなど半導体向けの需要が好調である。また、自動車向けの部品在庫の消化が進んできている模様で、今後、実需ベースでの増加が期待される。ただ、一部の会員企業からは、在庫分の消化が先行し、緩やかな調整に入る可能性の指摘も出ている。

黄銅棒は、同比8ヶ月連続マイナスで、住宅設備機器関連は新築向けが低調だが、リフォーム向け需要が支えている。ガス機器は、部品不足の問題が解消し、回復してきている。

【電線】

前年比+3.3%の4万7,200 t。

内訳は、国内が+3.3%、輸出が+0.8%。

【見通し】

【自動車】

8月の自動車生産が+22.3%。8月国内販売台数が前年比+17.8%。9か月ぶり生産、販売共に大幅増加。中国のゼロコロナ政策の影響は残るものの自動車向けに積み上げてきた部品の在庫が掃けてきたとの情報が入ってきており、今後、自動車の挽回生産が進行するものと期待される。

【伸銅品生産】

8月伸銅品生産量は5万3,710トン、前年同月比2.2%減少し、僅かな差で前年実績に届かないが、マイナス幅が小さく、ほぼ昨年並みの生産量で推移している。

今後、自動車の挽回生産が進行するものと期待される。

【電線】

輸出の伸びが鈍化するも自動車住宅の回復からプラスに転ずるか可能性も。

【鋼輸出】

財務省の貿易統計によると、2022年8月の日本からの鋼スクラップ輸出量は2万763トンだった。2か月続けて3万トンを下回った。また前年同月比2.2%減少した。前月は、13ヶ月ぶりに前年同月実績を上回ったが、今回2か月ぶりにマイナスに戻った。

鋼スクラップの主要な輸出先は、全て昨年より輸出量を減らしている。ただ、その中では、最大輸出先の中国向けの輸出量の減少率が1桁パーセントに留まっている。中国向け以外は、ほぼ全て2桁パーセントのマイナスである。

【スクラップ景況予想】

流通【一次問屋】在庫は今月銅建値が114万から一時121万と上昇とその後115万と高値安定。7月以来の121万の時点で少ない在庫も放出され様在庫薄。

需要面に関して中国のゼロコロナ政策の影響は残るものの自動車向けに積み上げてきた部品の在庫が掃けてきたとの情報から全体としては旺盛。自動車関連向け製品の在庫積み上げが穿けてきたとのこと。

(次頁へ)

日刊金属

外電配信料
(税込)

6 ヵ月 : 46,200 円

12 ヵ月 : 92,400 円

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。①米欧の金融政策
②中国のコロナ対策（ロックダウン）の動向。

①に関しては、米国に関して引き締め一辺倒のFRB。9月の米サプライマネジメント協会（ISM）製造業景況感指数が50.9と市場予想（52.0）を下回り、2020年5月以来の水準に低下した。好不況の境目とされる50割れが視野に入り、景気減速でインフレ率が低下するとの見方もあるがパウエル長官の意志は固くやはり次回も0.75%の利上げを行うのではない。

ECB（欧州）に関しては、欧州金融大手クレディ・スイス・グループの財務不安観測から利上げペースと鈍化させるのではない。

②に関しては、国慶節の連休明けの10月10日以降で大規模なロックダウンへの警戒感はあるが現状は未知数。

これらを踏まえた10月の銅価格は7,000-8,000ドル（セツル）との予想。

ドル円値は140円～145円（TTM）台を予測。

銅建値に関しては、102万-120万円程度と予測している。

（「9月の銅の概況及び10月の見通し」おわり）

銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶

www.kimura-metal.co.jp



QRコード

大阪市大正区



木村金属株式会社

06-6552-7840

豪：大型労組CFMEUの鉱業エネルギー部門、同労組からの離脱を再申請

2022年9月15日付けの地元ディアによると、豪州の建築産業や鉱業エネルギー産業などからなる大型労働組合CFMEUの鉱業エネルギー部門CFMEU Mining & Energyは、同組合からの離脱を豪連邦公正労働委員会（Fair Work Commission：FWC）に再申請した。

同部門は、同組合からの離脱申請を2021年3月に一度行ったが、FWCは同年9月、同部門が同組合に合併された年は1995年であるとみなせるため、この離脱申請は労働組合法「Fair Work (Registered Organisations) Act」の条文「労働組合の部門は、過去5年以内に当該の組合に統合されたものである場合のみ、当該の組合からの離脱が可能である」に整合しないとし

て、同申請を却下していた。一方、同部門は今回の申請が、同法の第94条（A）における、「労働組合の部門は、当該の組合が労働組合法、公正労働法、建設産業法、職場衛生安全法に準拠しない場合、当該の組合に合併されてから5年超の場合も離脱申請を行うことが可能である」に基づくとしている。

銅・非鉄金属地金全般

株式会社 才力モト

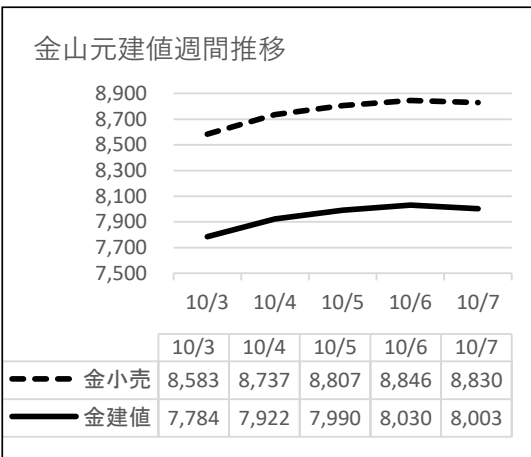
代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

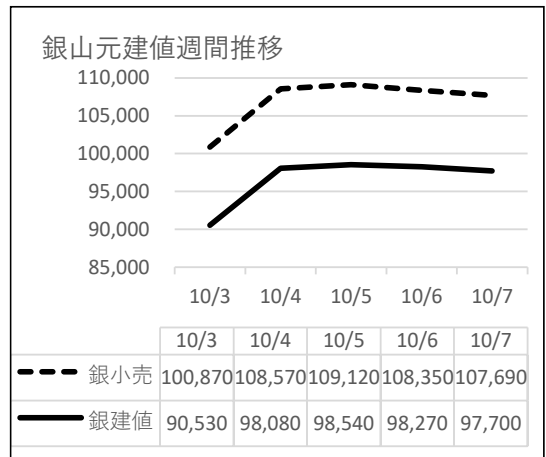
☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

 **金銀山元建値週間推移**

10月3日～10月7日



9月平均	建 値	小 売
金(¥/g)	7,768.45	8,572.60
銀(¥/kg)	87,960	98,330



故銅市況

7日朝入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の7,661.00ドルより83.00ドル高の7,744.00ドル。直物の終値は、前営業日の7,725.25ドルより75.50ドル安の7,649.75ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の7,607.00ドルより99.00ドル高の7,706.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の7,679.50ドルより72.00ドル安の7,607.50ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)銅相場の12月限は、前営業日の350.05セントより5.45セント安の344.60セント。SHFE(上海期貨交易所)は、国慶節の連休で休場。

7日の東京為替市場TTSレートは、前日の145.66円より0.26円の円安ドル高、1ドル=145.92円。7日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は7,744.00ドル。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(10月5日更新)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1014~1019、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは979~984、並銅は944~954、込銅(高品位=約97%)は934、セバは678~683。コーベルは要り用筋で619、それ以外は604ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋629、それ以外599~609どころの値頃。並青銅鋳物削粉は826~831どころ。

小口市の中相場(1トン前後)では、ピカ線が994~1014、上銅新くずが959~979、普通上銅が934~954、2号銅線が926~946、並銅が924~944、込銅(94-97%)が872、込銅(90-93%)が874、下銅が423~473、セバが643~678、コーベルが559~604、黄銅棒地が554~599、黄銅削粉が549~594、黄銅ラジが514~522、交叉ラジが544~601、黄銅銅鋳物が531~538、送りが297~316、上青銅鋳物が823~843、並青銅鋳物が803~818、上青銅鋳物削粉が818~838、並青銅鋳物削粉が793~813どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区(10月前半)

2S=215円~235円、63S=199円~250円、アルミホイール(1P)=116円~230円、ビス付サッシ=97円~106円、エンジンコロ=110円~118円、込合金(機械鋳物)=103円~111円、缶プレス(ソフト)=66円~76円。

関西地区(10月前半)

2S=198円~200円、63S=200円~235円、印刷版=190円~195円、アルミホイール(1P)=181円~194円、ペースメタル=154円~158円、機械鋳物=106円~109円、ダライ粉=85円~88円、ビス付サッシ=83円~118円、缶プレス=83円~88円。

この値と7日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の115万3,000円より1万5,000円高の116万8,000円。この日、電気銅建値は117万円に据え置かれた。

為替動向

6日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0020ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=0.9830ドル~0.9840ドルで推移した。この日、ECBは9月理事会の議事要旨を公表。インフレ抑制のために大幅な利上げを継続するEBCの方針が明らかになり欧州の景気悪化につながると警戒感からユーロ売りドル買いが優勢になった。

英ポンドも対ドルで下落。同じく0.0050ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.1190ドル~1.1200ドルで推移した。イングランド銀行のカンリフ副総裁が、現在実施している一時的な国債買い入れについて「市場機能に関するリスクがなくなったと判断した時点で、円滑かつ秩序だった方法で購入を終了する」との考えを示した。英国債市場の不安定化を警戒したポンド売り・ドル買いが優勢になった。

6日のニューヨーク外国為替市場で円相場は続落した。前日と比べ0.45円の円安ドル高、1ドル=145.10円~145.20円で取引を終えた。FRB高官から利上げ継続に前向きな発言が相次いだことを受け米国の長期金利が上昇、一時は前日と比べ0.08%高い3.84%を付けた。ドルは欧州の主要な通貨に対しても買われており、円売りドル買いが優勢になっていた。

7日午前の東京外国為替市場で円相場は144円台後半で小幅な動きとなっていた。10時、前日17時と比べ0.37円の円安ドル高、1ドル=144.94円~144.96円だった。ドルに多少の余剰感があり国内輸出企業による円買いドル売りが入る半面、米国の長期金利が3.8%台前半で高止まりしており、日米の金利差拡大見込んだ円売りドル買いも出て、円相場は一進一退となっていた。

円は対ユーロでは上昇。同じく1.35円の円高ユーロ安、1ユーロ=141.93円~141.96円だった。

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314

電話 0774-43-6700(代表)



LME銅相場は続伸 直物終値は7,649.75ドル
 COMEX銅相場は反落 SHFE銅相場は休場
 LME非鉄相場は総じて堅調 アルミは3営業日で約9%高
 対ロシアの取引停止やエネルギー価格高騰による潜在的供給懸念反映



7日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、10月6日入電の7,661.00ドルより83.00ドル高の7,744.00ドル。3営業日の続伸で2.92%高。この週1.27%の上伸。10月に入って1.27%の上伸。3か月物の前場売値は、10月6日入電の7,607.00ドルより99.00ドル高の7,706.00ドル。3営業日の続伸で3.99%高。この週2.19%の上伸。10月に入って2.19%の上伸。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地10月5日の13万8,650トンより1,550トン増の14万0,200トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、10月限が、10月6日入電の353.25セントより5.75セント安の347.50セント。8営業日ぶりの反落で1.63%安。この週0.96%の上伸。10月に入って0.96%の上伸。11月限は、10月6日入電の351.95セントより5.70セント安の346.25セント。3営業日ぶりの反落で1.62%安。この週0.95%の上伸。10月に入って0.95%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）は、国慶節の連休で休場。

錫は下落

LME錫相場の前場売値は、直物が、10月6日入電の2万0,305.00ドルより55.00ドル安の2万0,250.00ドル。反落して0.27%安。この週2.41%の下落。10月に入って2.41%の下落。3か月物の前場売値は、10月6日入電の2万0,275.00ドルより125.00ドル安の2万0,150.00ドル。2営業日の続落で0.74%安。この週2.89%の下落。10月に入って2.89%の下落。

LME公認倉庫の錫在庫は現地10月5日の4,810トンより135トン減の4,675トン。

鉛は続伸 直物は3営業日で約10%高

LME鉛相場の前場売値は、直物が、10月6日入電の1,965.50ドルより83.50ドル高の2,049.00ドル。3営業日の続伸で9.84%高。この週8.47%の上伸。10月に入って8.47%の上伸。3か月物の前場売値は、10月6日入電の1,947.00ドルより75.00ドル高の2,022.00ドル。3営業日の続伸で8.13%高。この週7.15%の上伸。10月に入って7.15%の上伸。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地10月5日の3万1,875トンよりトン減の3万1,875トン。

亜鉛も続伸

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、10月6日入電の3,028.00ドルより68.00ドル高の3,096.00ドル。

3営業日の続伸で4.74%高。この週3.68%の上伸。10月に入って3.68%の上伸。3か月物の前場売値は、10月6日入電の3,000.00ドルより71.00ドル高の3,071.00ドル。3営業日の続伸で5.35%高。この週3.91%の上伸。10月に入って3.91%の上伸。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地10月5日の5万3,350トンより25トン減の5万3,325トン。

アルミも続伸 アルミ合金は横ばい 北米特殊はまちまち

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、10月6日入電の2,289.00ドルより66.00ドル高の2,355.00ドル。3営業日の続伸で8.83%高。この週8.03%の上伸。10月に入って8.03%の上伸。3か月物の前場売値は、10月6日入電の2,299.00ドルより61.00ドル高の2,360.00ドル。3営業日の続伸で8.81%高。この週7.42%の上伸。10月に入って7.42%の上伸。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地10月5日の32万8,525トンより万325トン増の32万8,850トン。




LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、10月6日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。10月に入って横ばい。3か月物の前場売値は、10月6日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。10月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、10月6日入電の2,476.00ドルより1.00ドル高の2,477.00ドル。上伸して0.04%高。この週0.08%の上伸。10月に入って0.08%の上伸。3か月物の前場売値は、10月6日入電より横ばいの2,495.00ドル。この週横ばい。10月に入って横ばい。

ニッケルは続伸

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、10月6日入電の2万2,275.00ドルより75.00ドル高の2万2,350.00ドル。2営業日の続伸で4.93%高。この週0.27%の上伸。10月に入って0.27%の上伸。3か月物の前場売値は、10月6日入電の2万2,250.00ドルより150.00ドル高の2万2,400.00ドル。2営業日の続伸で4.75%高。この週0.22%の上伸。10月に入って0.22%の上伸。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地10月5日の5万1,558トンより138トン減の5万1,420トン。

日刊金属 既刊収録サイト 
  <https://nikkankinzoku.co.jp/>

LME公示価格(US\$)／10月6日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	7,744.00	20,250.00	2,049.00	3,096.00	2,355.00	1,760.00	2,477.00	22,350.00
	前営業日比	83.00	▲ 55.00	83.50	68.00	66.00	0.00	1.00	75.00
先物	公示価格	7,706.00	20,150.00	2,022.00	3,071.00	2,360.00	1,760.00	2,495.00	22,400.00
	前営業日比	99.00	▲ 125.00	75.00	71.00	61.00	0.00	0.00	150.00

海外非鉄金属相場

(10月7日 入電・現地 10月6日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 10月限, 11月限, 12月限, 1月限, 2月限, 前日比, 出来高.

採算価格
フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キログラム), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

米国生産者価格 (地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 2175.0 (120.0), 2044.5 (3.8)

NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.35 - 257.35, 353.35 - 357.35

ロンドン相場 (ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タンタル鉱石30-35%(ポンド). Values: 1714.20 (13.70), 13000 -, 3.60 -, 1.52 -, 250 -, 7.00 -, 9.00 -, 40.00 -, 24.75 -, 3500 -, 320.0 -, 110 -

KLTM錫 (MYR/KG, 出来高トン)

Table with columns: (6日), (7日). Rows: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ. Values: -, -, -, 3.7600, 4.6313, -, -

LME在庫 (トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル. Values: 140,200, 4,675, 31,875, 53,325, 328,850, 2,120, 3,960, 51,420, 1,550, 135, -, 25, 325, -, 138

上海在庫 (トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 30,459, 174,511, 37,694, 53,862, 2,706, 6,438, 35,487, 18,095, 19,402, 414

LMEプレマーケット (ドル)

Table with columns: 先物気配, (10/7), (3:00AM現地). Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル. Values: 7,533.0 -, 20,020.0 -, 2,033.5 -, 3,053.5 -, 2,356.0 -, -

上海相場

Table with columns: トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 10月限, 11月限, 前日比, 出来高.

*7日のKLTMは取引がありません。上海市場は国慶節の連休で休場です。

Table with columns: LME (円ベース/キログラム), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル. Values: 7744, 20250, 2049, 3096, 2355, 22350, 348, 1165, 15, 3, 13, 10, 10, 16, 1165

非鉄金属製品相場

(10月7日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1480	1435	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1530	1485	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	1610	1635	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	1660	1635	鉛板1.5ミリ	570	571	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	1570	1545	鉛線3ミリ	465	465	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	1390	1405	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1445	1450	アルミ箔0.007ミリ	1125	1145	1.6mm 30.5~32.4
銅線0.9ミリ	1470	1465	〃 小板1ミリ	760	775	5.5sq 83.8~89.1
銅帯6×50	1400	1385	〃 大板1ミリ	740	765	14sq 207~220
銅平角線	1670	1655	〃 5052板	795	815	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1240	1285	〃 6061板	1325	1345	600V 3C×38 1580~1679
〃 0.3ミリ	1270	1315	〃 2017板	1250	1375	600V 3C×60 2430~2583
黄銅大板2×1×2	1390	1465	〃 線3ミリ	740	760	600V 3C×100 4082~4340
黄銅管	1750	1740	〃 快削棒50ミリ	960	980	6kV 3C×38 2566~2723
復水器用黄銅管	1720	1710	〃 合金棒50ミリ(17S)	945	960	6kV 3C×60 3572~3791
黄銅棒快削25ミリ	1010	1060	〃 合金棒50ミリ(56S)	900	920	CVV (関西-関東)
六角棒	1040	1090	貴金属(一般小口向け)			3C×2 125-128
四角棒	1070	1120	白金(グラム)		◎ 4810	4C×2 168-172
鍛造用	1050	1100	パラジウム(グラム)		◆ 11731	6C×2 237-243
ネーパル	1150	1200	金(グラム)		◆ 8830	7C×2 271-278
高力	1150	1200	銀(キログラム)		◆ 107690	合金鉄 8月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1415	1440	レアメタル輸入価格	8月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 185
黄銅平角線ロール仕上	1615	1650	金属ケイ素(99.99%未満)	487		〃 その他 345.8
黄銅条1.5×100	1235	1275	モリブデン酸化物	3759		フェロシリコン55%以上 337
リン青銅板一般用1.0ミリ	2540	2730	タンタル	65085		フェロクロム4%以上炭素含有 330.5
〃 バネ用0.3ミリ	2780	2980	マグネシウム	512		フェロモリブデン純分60%以上 4033
リン青銅棒25ミリ	2700	2910	コバルト	10464		フェロバナジウム 4010
リン青銅線3ミリ	3010	3220	インジウム	28300		フェロニッケル33%未満 875.6
洋白板一般用1.0ミリ	3580	3730				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3750	3910				

減摩合金	10月3日改定	銅合金地金	9月1日発表
500kg以上、大口価格		(標準価格)	大阪
1種	4085	BC 1種	1215
2種	3990	2種	1535
3種	3880	3種	1615
4種	3420	6種	1295
5種	3240	7種	1425
7種	1260	YBSC 3種	1095
8種	1130	LBC 3種	1560
9種	960	PBC 2種	1635



非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(10月7日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		41,000 ~ 45,000(1)			
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場				
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値		
1号銅線	1055	1052	電気銅	◆1111	◆1106	◆1113	◆1108	山元建値	1170(5)	金	8,003(7)
2号銅線	1013	—	電気亜鉛	492	486	492	486	() 実施日	360(7)	銀	97,700(7)
上銅(新切)	1026	1020	蒸留亜鉛	480	474	480	474	電気亜鉛	505(6)	錫(99.99%)	4,450(3)
雑ナゲット	884	882	再生ダイカスト亜鉛2種	407	401	407	401				
並銅	968	950	再生亜鉛(98%)	358	352	358	352				
下銅	949	921	電気鉛	◎339	◎336	◎339	◎336				
銅削粉	943	924	再生鉛1号	◎321	◎311	◎318	◎313				
銅さい(30%)	25	25	再生鉛3号	◎326	◎322	◎323	◎319				
新切黄銅セバ	794	800	錫1号	3150	3100	3150	3100				
コーペル	762	758	アンチモン	2000	1950	2000	1950				
黄銅棒地	760	746	ニッケル(メッキ用)	3200	3150	3200	3150				
黄銅削粉	754	742	コバルト	9000	8700	9000	8700				
並黄銅	665	637	セレニウム	3300	3100	3300	3100				
黄銅ラジエター	574	560	ビスマス	1450	1350	1450	1350				
交叉ラジエター	613	588	カドミウム	600	550	600	550				
黄銅鑄物	670	—	マグネシウム合金	525	505	525	505				
山送り(55%)	360	—	アルミ地金99.70%	◎387	◎383	◎389	◎385				
上青銅鑄物	828	—	アルミ二次地金99%	305	300	305	300				
並青銅鑄物	826	815	〃 90%	283	278	283	278				
上青銅鑄物削粉	821	—	アルミ二次合金ADC12	407	402	410	405				
並青銅鑄物削粉	811	800	鑄物用 C2BS	432	427	434	429				
新切リン青銅(伸銅)	—	1055	青銅合金地金3種	1575	1565	1610	1600				
〃 (鑄物)	942	—	〃 6種	1265	1255	1300	1290				
リン青銅削粉	860	853	ハンダ錫60%	2720	2680	2740	2710				
新切洋白(電子材)	872	860	〃 50%	2350	2300	2370	2340				
新切亜鉛	251	251	〃 40%	2045	1985	2000	1970				
ダイカストくず	216	216	減摩合金2種	3960	3930	3965	3935				
亜鉛ドロス	194	205	〃 4種	3375	3350	3380	3350				
上鉛	◎148	◎146	〃 7種	1190	1140	1190	1140				
電池素鉛ケース込	25	25	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		75	75				
活字鉛	◎133	◎130		〃 ダライ粉		60	60				
新切アルミ1級	237	239		高耐食ステンレスSUS316		210	210				
新切サッシ1級	237	237		耐熱ステンレスSUS310		365	365				
新切合金1級	222	217		13クローム 新切		21	24				
機械鑄物1級	165	172		ハイス 9種		205	205				
ビス付サッシP	195	192									
合金削粉P	110	115									
込ガラP	105	107									
カン・バラ	160	161									

非鉄金属材料相場面

PW: nikkin202210